

## 実証事例の概要

- ・ 実証年度：令和4年度
- ・ 実証場所：養父市
- ・ 経営体名：S営農組合
- ・ 栽培作物：水稻
- ・ 実証面積：87.2a

## 実証・導入の目的

- S営農組合では労働力不足により日々の水管理と穂肥散布が負担となっていたため、省力化を図った。
- 省力効果だけではなく、技術導入による水稻品質への影響を確認し、地域への導入を検討した。

## 実証・導入した技術

- ・ 技術内容：①水管理システムの導入  
②農業用ドローンによる防除
- ・ メーカー名（商品名等）
  - ①北菱電興 水田用自動給水機アクアポート
  - ②DJI JAPAN (AGRAS MG-1)



・ 水管理システムの機体



・ 散布作業の様子

## 取り組みの効果・今後の展望

- 作業時間
  - 水管理システム：28%短縮
  - ドローン穂肥散布：50%短縮
- 収量
  - 水管理システム：慣行と同等
  - ドローン穂肥散布：19%減少
- 外観品質
  - 水管理システム：向上
  - ドローン穂肥散布：ほぼ同等
- ☆両技術は中山間地の狭小ほ場でも大きな省力化が期待できるため、機種を選定や利用に向けた仕組み作りを進める。